

平成27年度和歌山県文化賞

まつなが ゆうけい
松長 有慶

住 所 和歌山県伊都郡高野町
出 身 地 和歌山県伊都郡高野町
生 年 昭和4年

◎ 業績及び経歴

昭和4年高野町に生まれる。高野山大学文学部密教学科を卒業後、同大学に勤務。また、高野山真言宗内地留学生として東北大学に留学。密教学の研究に精励し、昭和45年には高野山大学教授に就任。

専門は、インド・チベットの密教学。昭和37年に第1回東北印度学宗教学会賞受賞、昭和38年に第6回日本印度学仏教学会賞受賞、昭和53年に第17回密教学芸賞受賞など、学会において、認められる。昭和53年の「密教経典成立史論」において、九州大学より文学博士号を取得する。

昭和54年には、西チベット学術調査団の団長として、密教の源流を踏査し、チベットのマンダラの数々を日本に紹介。密教学への関心を大いに高め、近代の西洋文明に対する東洋思想の見直しの機会を作った。

昭和58年から昭和62年までは高野山大学学長を務めた。また、昭和59年から平成8年までは高野山大学密教文化研究所所長として、密教学を通じて東洋思想の普及に努めた。

平成3年には「密教」を出版。これは、チベット、ネパール、インド、パキスタンなどへ密教の源流をもとめて調査を重ねてきた氏が、密教の歴史、思想、実践、シンボリズム等を語った、密教研究の集大成といえる本である。

宗教者としても、平成18年から平成26年まで高野山真言宗総本山金剛峯寺第412世座主、高野山真言宗管長に就任。その間、平成20年から平成22年までは全日本仏教会会長を務め、世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）に出席するなど精力的な活動を行ってきた。

氏はこれまで一貫して密教学への関心を高めることに尽力してきた。60年以上の長きにわたり、密教学を通じて東洋思想の普及に努め、文化の向上、発展に尽くしてきた氏の功績は計り知れない。

■ 現 在

高野山大学名誉教授
密教文化研究所顧問
密教図像学会顧問
高野山補陀落院住職
前官
碩学
主教

◆ 主な表彰歴等

昭和37年 第1回東北印度学宗教学会賞
昭和38年 第6回日本印度学仏教学会賞
昭和53年 第17回密教学芸賞
平成2年 和歌山県文化功労賞
平成20年 瑞宝中綬章